

1983

年(頃)

タイトル

長浜城歴史博物館開館

概要

1983年4月、まちづくりのシンボルとして再興された長浜城歴史博物館。ちりめん業を営む長谷兄弟が、2人で1億5千万円を寄付されたことをきっかけに、共鳴した企業や個人が次々と寄付を申し出られた。総工費約11億円のうち、約4億3千万円がこうした浄財で賄われた。

再興を記念して「長浜出世まつり」が開催され、現在も長浜きもの大園遊会や火縄銃大会など、秋にかけてイベントが開催されている。



1988

年(頃)

タイトル

長浜楽市オープン

概要

1988年3月、当時市街地にあった西友ストアが郊外（国道8号沿い）へ移転・オープンした。出店の際には入り口部分で地元の商業者が営業を行う「地元との共存型の大型店」として注目を浴びた。

全国のショッピングモールの先駆けとしてオープンした長浜楽市は、プレイランドやドライブインシアター、洋ラン園、公開ラジオブースなど、様々なアミューズメント施設が複合していた。長浜駅からはボンネットバスが運行し、地域外からも大勢の客で賑わった。全国からの視察も後を絶たなかった。中心市街地の衰退を招いた一因とは言え、楽市計画が長浜キャノン誘致の要因になったとも言われ、後に続く大型店舗進出に大きな影響を与えた。



1989

年(頃)

タイトル

黒壁ガラス館オープン

概要

1988年4月、第三セクター株式会社黒壁が設立。6月に役員で国内先進地を視察。「やれるもんならやってみたら」というニュアンスの発言に触発され、ガラス事業展開を決意。翌89年、黒壁ガラス館をオープンさせる。

ガラス館を中心に、工房やレストランなどを多数集積させ、かつては地元民が集う商店街から、観光客が押し寄せる観光地へと変貌を遂げた。

また、黒壁以外にもガラス文化を広め、市民の関心を高めた。

様々なイベントやアイデア、出店を繰り返し「黒壁ブランド」の確立に努め、年間200万人の観光客が訪れる県内屈指の人気観光地となっている。



1991

年(頃)

タイトル

JR 直流化 ※長浜駅まで

概要

1991年9月14日、市民の長年の悲願であった直流化が実現した。長浜駅までの一部区間であったが後に実現する琵琶湖環状線の実現に向けての大きな一歩となった。行政単位では当時の湖北1市12町で構成する「湖北地方開発振興促進協議会」が設立され、陳情活動をはじめる一方で、市民有志でも「ながはま21市民会議」が結成され、6万6千人の署名を集めるなど、住民運動が大きくなるとなった。折しも国鉄が民営化され、先行投資とイメージアップを図りたいJR。さらに県が直流化の応分負担を表明したことから、県や地元負担があるならばという条件付きで、直流化が実現した。



1996

年(頃)

タイトル

北近江秀吉博覧会

概要

NHK大河ドラマ「秀吉」放映に合わせ開催された博覧会。1996年4月7日から11月30日まで、長浜市街地一帯で開催された。主催は北近江秀吉博覧会実行委員会。

会期238日間で82万人を超える入場者で賑わった。

あまり時間がない中で準備、運営を行うこととなり、予算も限られていたことから、JCを中心に商店街連盟やボランティアグループ、そして行政が協力して推進していった。

その結果、これまで交わることのない人と人のネットワークが生まれ、その後のまちづくりに寄与することとなった。博覧会がひとづくり、まちづくりに繋がる過程を示したイベントであったことを証明した。



2006

年(頃)

タイトル

北近江一豊・千代博覧会

概要

NHK大河ドラマ「功名が辻」放映に合わせ開催された博覧会。2006年1月8日から11月30日まで、長浜市街地一帯で開催された。主催は一豊公・千代様キャンペーンイベント実行委員会。

会期327日間で66万人を超える入場者で賑わった。

またゆかりの地を巡る巡回バスやFMラジオウォーク、語り部ガイドツアーも好評を博し、市街地のみならず周辺地域にも影響を与えた。

米原市とも連携し、広域連携の有用性を確認した。



2006

年(頃)

タイトル

J R 北陸線全線直流化

概要

J R 西日本は、北陸線の長浜～敦賀駅間約38kmと、湖西線の永原～近江塩津駅間約6km区間を2016年10月、交流から直流に切り替えた。これで滋賀県内のJ R 線全線が直流化されることになり、交直両用仕様の一部特急を除き、乗り換えを余儀なくされていた湖北の鉄道事情が大幅に改善された。

2002年に滋賀県、福井県とJ R で基本合意に達し、費用負担が決まった。これにより直流化が実現したもので、先だって各駅も直流化に備え、改築が進められた。



2006

年(頃)

タイトル

1市2町合併

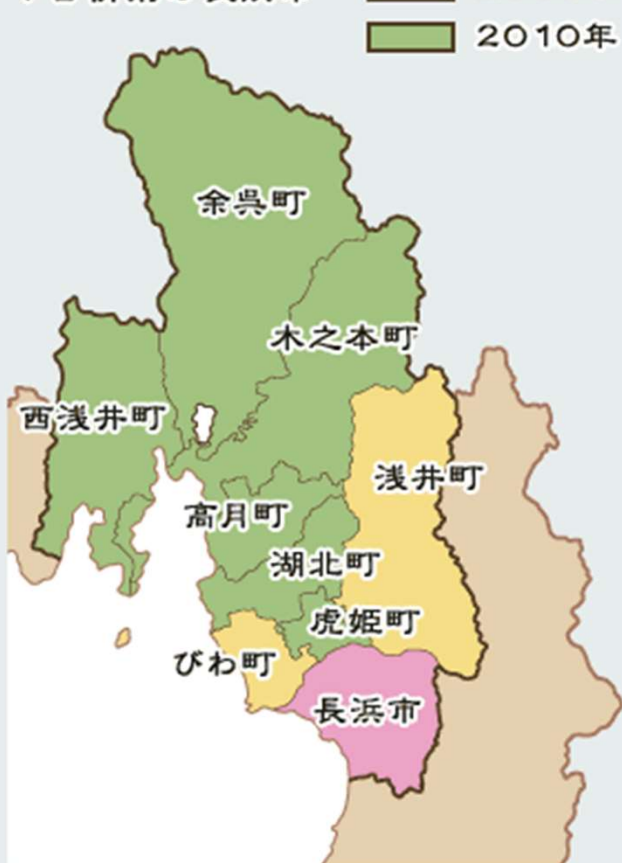
概要

2006年2月13日、長浜市と東浅井郡浅井町とびわ町が合併し、新しい長浜市が誕生した。

面積は149.57㎡。翌年、琵琶湖の境界が確定し247.01㎡となった。

人口は約84,000人(当時)。

▼合併前の長浜市



▼合併後の長浜市



2010

年(頃)

タイトル

1市6町合併

概要

2010年1月1日、長浜市と東浅井郡・伊香郡の6町が合併し、新しい長浜市が誕生した。
面積は680.02㎡。人口は約125,000人となった(当時)。

▼合併前の長浜市



▼合併後の長浜市



2011

年(頃)

タイトル

江・浅井三姉妹博覧会

概要

NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」放映に合わせ開催された博覧会。2011年1月15日から12月4日まで、長浜市街地一帯で開催された。主催は一豊公・千代様キャンペーンイベント実行委員会。会期345日間で118万人を超える入場者で賑わった。

経済効果も推計240億円に上り、合併後初の大型イベントということもあり、市の一体感を醸成することも目的の1つであった。今回の博覧会は、郊外の広域で展示会場を設けたが、巡回バスを運行し、展示会場に駐車場、トイレなどを整備すれば十分に観光客を呼び込めることを実証した。



2014

年(頃)

タイトル

黒田官兵衛博覧会

概要

NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」放映に合わせて開催された博覧会。2014年1月19日から12月28日まで、長浜市街地一帯で開催された。主催は長浜・戦国大河ふるさと博実行委員会。

会期344日間で35万人を超える入場者で賑わった。黒田官兵衛の先祖発祥の地であり、官兵衛が参謀を務めた羽柴秀吉が初めて城持ち大名となり長浜城を築くなど、ドラマと縁は深かったものの、過去の大河主人公と比較し官兵衛に対する市民の親近感は薄かった。

それでも江から続いた機運やノウハウにより、ロングランイベントを開催し、目標を超える人出を記録した。



2015

年(頃)

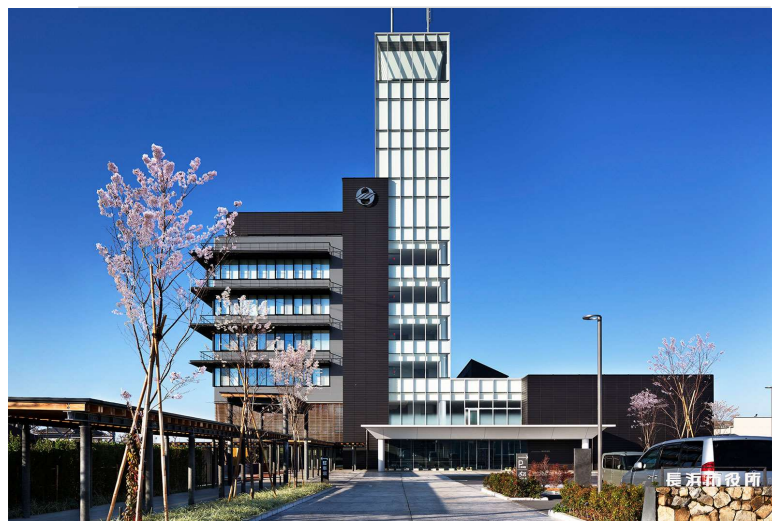
タイトル

長浜市役所新庁舎移転

概要

長浜市役所旧庁舎は、1952年に建設され、老朽化が進んでいたため、効率的な市民サービスを提供し、市民の利便性が図れる庁舎とすることなど具現化するため「長浜市本庁舎整備基本構想」を定め新庁舎建設を行ってきた。

新庁舎は、2012年4月に着工して2015年12月に完成した新築の東館と、旧東別館を改修した西館で構成。鉄骨造り6階建てで、延べ床面積は約1万8600平方メートルになる。



2017

年(頃)

タイトル

えきまちテラス長浜オープン

概要

駅前再開発事業として、2017年7月にグランドオープン。

「Matching (マッチング)~人、情報、場所~」を施設コンセプトに、駅前に賑わいを創出する拠点として整備された。

延床面積4,980㎡、鉄筋5階建て。館内には飲食店、お土産店、観光案内所、学習塾、放課後児童クラブ、バレエ教室など、多種多様な店舗が入居している。

また、電車の待ち時間や待ち合わせ等に利用できるフリースペースが広くとられているほか、ストリートピアノや無料の水族館など、老若男女が集える施設となっている。

